

## ■平成 23 年度用高等学校理科 高等学校 物理Ⅱ改訂版（物Ⅱ009）

平成 24 年度用教科書では以下について訂正いたします。ご迷惑をおかけ致しますこと、謹んでお詫び申し上げますと共に、ご指導に際しまして、ご配慮いただきますようお願い申し上げます。

(株)新興出版社啓林館編集部

訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
頁	行			
119	問 6	別の電源につないだところ、電池から流れた電流は 0.10A であった。	内部抵抗の無視できる電源につないだところ、電源から流れた電流は 0.10A であった。	誤記
144	問 8(2)	金属板の $x$ 方向の厚さを $d$ [m]、金属板の $x$ 方向に発生する電位差を $V$ [V] として、磁束密度 $B$ の大きさを $V$ , $v$ , $d$ で表せ。	図 15 のように、磁束密度 $B$ と電流 $I$ に垂直な方向の金属の長さを $d$ 、その方向に発生する電位差を $V$ として、 $B$ を $V$ , $v$ , $d$ で表せ。	図 15 に $x$ 軸がないため、問題文を変更
197	20	8.31J/mol·K	8.31J/(mol·K)	誤記
200	図 11	壁 $S_x$	壁 $S_x$	誤植
215	17	図 25	p.216 図 25	ページ参照を初出の場所に付けます
	20	p.216 図 25	図 25	

### 改善のための訂正

訂正箇所		原 文	訂 正 文	訂 正 理 由
頁	行			
②	右下	最新(2008)の原子量を基に日本化学会原子量小委員会	最新(2011)の原子量を基に日本化学会原子量専門委員会	客観的事情の変更（日本化学会原子力専門委員会「原子量表(2011)」）
②		( $^{32}\text{Ge}$ の原子量) 72.64	72.63	
②		(112 番元素コペルニシウム Cn (原子量(285), 天然には存在しない元素)を追加)		
155	9	$g$ [m/s <sup>2</sup> ] とし、回路を流れる電流がつくる磁界は無視できるものとする。	$g$ [m/s <sup>2</sup> ] とし、 <u>導体棒の質量、導体棒や滑車にはたらく摩擦、および回路を流れる電流がつくる磁界は無視できるものとする。</u>	条件をより明確にしました
286	24	ワイツゼッカー 1912-	ワイツゼッカー 1912-2007	更新が適切な事実の記載
288	16	1999 年には日本の東海村のウラン加工工場で、核燃料物質の臨界質量を超えた扱いが原因で連鎖反応事故が起きた。	2011 年の東日本大震災では、福島第一原子力発電所の炉心冷却機能が失われて炉心溶融が起き、原子炉内の放射性物質が外部に放出された。	内容の更新
288	21	非常に小さいといわれているが、想定外の事態が起こる可能性もあり	非常に小さいといわれているものの、想定外の事故が起こり得るので	